

平成 28 年度 資格スクール大栄

第 143 回日商簿記検定試験 模範解答

3 級

商 業 簿 記

第 1 問

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	有 価 証 券	180,000	現 金	180,000
2	仕 入	203,000	前 払 金	40,000
			買 掛 金	160,000
			現 金	3,000
3	当 座 預 金	299,600	売 掛 金	300,000
	支 払 手 数 料	400		
4	備 品	560,000	当 座 預 金	260,000
			未 払 金	300,000
5	所 得 税 預 り 金	94,000	現 金	94,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 2 問

帳簿 日付		現金出納帳	当座預金 出 納 帳	商品有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕 入 帳	売 上 帳	受取手形 記 入 帳	支払手形 記 入 帳
5	2		○	○			○			○
	6	○		○	○			○	○	
	16		○							○
	27		○			○				
	31		○						○	

各日付につき 2 点 合計 10 点
(配点は、当学院の予想です)

第 3 問

残 高 試 算 表

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
4 月 30 日	4 月 1 日		4 月 1 日	4 月 30 日
325,000	550,000	現 金		
1,557,000	1,600,000	当 座 預 金		
650,000	300,000	受 取 手 形		
500,000	400,000	売 掛 金		
		貸 倒 引 当 金	30,000	30,000
400,000	400,000	繰 越 商 品		
80,000	160,000	前 払 金		
600,000	600,000	備 品		
		備品減価償却累計額	200,000	200,000
		支 払 手 形	200,000	350,000
		買 掛 金	300,000	350,000
		前 受 金	220,000	100,000
		所 得 税 預 り 金	30,000	40,000
		借 入 金	1,000,000	1,000,000
		資 本 金	2,000,000	2,000,000
		売 上	5,000,000	6,570,000
4,270,000	3,250,000	仕 入		
1,580,000	1,200,000	給 料		
65,000	50,000	発 送 費		
240,000	180,000	支 払 家 賃		
162,000	120,000	通 信 費		
190,000	150,000	水 道 光 熱 費		
10,000	10,000	支 払 利 息		
11,000	10,000	手 形 売 却 損		
10,640,000	8,980,000		8,980,000	10,640,000

得 意 先 元 帳 (全 て)

神 奈 川 商 店		千 葉 商 店	
前月繰越 250,000	返 品 55,000	前月繰越 150,000	値 引 き (5,000)
売り上げ 500,000	回収(当座振込) (300,000)	売り上げ 210,000	回収(当座振込) 100,000
			回収(約手受取) 150,000

1 つにつき 2 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

第 4 問

(ア)	買 掛 金	(イ)	40,000	(ウ)	仕 入
(エ)	買 掛 金	(オ)	30,000	(カ)	300,000
(キ)	売 上	(ク)	300,000		

各 1 点 合計 8 点
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問

精 算 表

(単位: 円)

勘 定 科 目	試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	56,000						56,000	
現 金 過 不 足	3,000			3,000				
当 座 預 金	349,000						349,000	
受 取 手 形	76,000						76,000	
売 掛 金	114,000		20,000				134,000	
仮 払 金	250,000			250,000				
繰 越 商 品	41,000		38,000	41,000			38,000	
貸 付 金	400,000						400,000	
建 物	1,800,000						1,800,000	
備 品	200,000		250,000				450,000	
土 地	1,360,000						1,360,000	
支 払 手 形		74,000						74,000
買 掛 金		109,000						109,000
前 受 金		24,000		20,000				44,000
貸 倒 引 当 金		2,000		6,400				8,400
建物減価償却累計額		486,000		54,000				540,000
備品減価償却累計額		120,000		52,500				172,500
資 本 金		3,400,000						3,400,000
売 上		1,286,000				1,286,000		
仕 入	650,000			650,000				
給 料	168,000				168,000			
通 信 費	12,000		2,000		14,000			
消 耗 品 費	6,000			1,000	5,000			
保 険 料	16,000			4,000	12,000			
	5,501,000	5,501,000						
雑 (損)			1,000		1,000			
売 上 原 価			41,000	38,000	653,000			
			650,000					
貸倒引当金繰入			6,400		6,400			
減 価 償 却 費			106,500		106,500			
消 耗 品			1,000				1,000	
(前 払) 保 険 料			4,000				4,000	
(未 収) 利 息			2,000				2,000	
受 取 利 息				2,000		2,000		
当 期 純 (利 益)					322,100			322,100
			1,121,900	1,121,900	1,288,000	1,288,000	4,670,000	4,670,000

1 つにつき 3 点(当期純利益の行のみ 2 点) 合計 32 点
(配点は、当学院の予想です)

【3 級解説】

第 1 問

1. @¥180×1,000 株=¥180,000
2. 商品仕入時の引取運賃(当店負担)は、商品の取得原価に含めます。
4. 固定資産購入時の付随費用は、固定資産の取得原価に含めます。
5. 従業員の給料から源泉徴収した所得税は、給料支払時に「所得税預り金」勘定で処理されているので、納付時にはこれを減少させます。なお、源泉徴収した所得税は原則として毎月納付する必要がありますが、一定の条件の下で、半年分をまとめて納めることができる特例もあります。

第 2 問

各取引の仕訳、および各補助簿に記入される取引は以下の通りです。

2 日	(仕 入)	500,000	(当 座 預 金)	250,000
			(支 払 手 形)	250,000
6 日	(受 取 手 形)	300,000	(売 上)	600,000
	(売 掛 金)	300,000		
	(発 送 費)	5,000	(現 金)	5,000
16 日	(支 払 手 形)	300,000	(当 座 預 金)	300,000
27 日	(買 掛 金)	400,000	(当 座 預 金)	400,000
31 日	(当 座 預 金)	299,500	(受 取 手 形)	300,000
	(手 形 売 却 損)	500		

現金・当座預金出納帳 …… 現金および当座預金の増減を記録する補助簿です。

(現金・当座預金)	×××	()	×××
()	×××	(現金・当座預金)	×××

売 上 帳 …… 商品の売上取引を記録する補助簿です。売上の値引・返品取引も記入されます。

()	×××	(売 上)	×××
(売 上)	×××	()	×××

仕 入 帳 …… 商品の仕入取引を記録する補助簿です。仕入の値引・返品取引も記入されます。

(仕 入)	×××	()	×××
()	×××	(仕 入)	×××

受取手形記入帳 …… 受取手形(手形債権)の増減を記録する補助簿です。

(受 取 手 形)	×××	()	×××
()	×××	(受 取 手 形)	×××

支払手形記入帳 …… 支払手形(手形債務)の増減を記録する補助簿です。

()	×××	(支 払 手 形)	×××
(支 払 手 形)	×××	()	×××

商 品 有 高 帳 …… 商品の増減を、商品種類ごとに記録する補助簿です。商品の有高が増減したときに記載されるので、仕入帳および売上帳と同時に記入されることになります。なお、仕入の値引・返品、売上の返品は記載しますが、売上値引は記載しません。売上値引は、利益部分の修正で有高(原価)は増減しないためです。

得意先元帳・・・得意先ごとの売掛金の増減を記録する補助簿です。

(売 掛 金) ××× () ×××
 () ××× (売 掛 金) ×××

仕入先元帳・・・仕入先ごとの買掛金の増減を記録する補助簿です。

() ××× (買 掛 金) ×××
 (買 掛 金) ××× () ×××

第3問

総勘定元帳の記入内容をもとに取引を考えますが、取引がその種類ごとに与えられている資料と同様です。つまり、取引が「現金の増減に関する取引」・「受取手形の増減に関する取引」・「売掛金の増減に関する取引」というように種類ごとに記載されているので、各総勘定元帳から行った仕訳を集計する際には、二重仕訳に注意しましょう。

4 月中の取引の仕訳は以下のとおりです。(網掛けの科目が二重仕訳部分です)

現金勘定より (現金の増減に関する取引)

(現 金)	200,000	(当 座 預 金)	200,000
(仕 入)	40,000	(現 金)	425,000
(発 送 費)	15,000		
(給 料)	370,000		

当座預金勘定より (当座預金の増減に関する取引)

(当 座 預 金)	999,000	(売 上)	300,000
		(受 取 手 形)	299,000 ^{*1}
		(売 掛 金)	400,000
(仕 入)	200,000	(当 座 預 金)	1,042,000
(支 払 手 形)	200,000		
(買 掛 金)	300,000		
(現 金)	200,000 ^{*2}		
(通 信 費)	42,000		
(水 道 光 熱 費)	40,000		
(支 払 家 賃)	60,000		

*1 受取手形勘定貸方 当座預金金額より

*2 現金勘定借方 当座預金金額より

受取手形勘定より (受取手形の増減に関する取引)

(受 取 手 形)	650,000	(売 上)	500,000
		(売 掛 金)	150,000 [*]
(当 座 預 金)	299,000	(受 取 手 形)	300,000
(手 形 売 却 損)	1,000		

* 得意先元帳(千葉商店)貸方 回収額(約手受取)より

売掛金勘定より（売掛金の増減に関する取引）

（ 売 掛 金 ）	710,000	*1	（ 売 上 ）	710,000
（ 売 上 ）	60,000		（ 売 掛 金 ）	610,000
（ 当 座 預 金 ）	400,000	*2		
（ 受 取 手 形 ）	150,000	*3		

*1 得意先元帳借方 売り上げ合計より

*2 当座預金勘定借方 売掛金金額より

*3 得意先元帳(千葉商店)貸方 回収額(約手受取)より

支払手形勘定より（支払手形の増減に関する取引）

（ 支 払 手 形 ）	200,000	*	（ 当 座 預 金 ）	200,000
（ 仕 入 ）	250,000		（ 支 払 手 形 ）	350,000
（ 買 掛 金 ）	100,000			

* 当座預金勘定貸方 支払手形金額より

買掛金勘定より（買掛金の増減に関する取引）

(買 掛 金)	440,000	(当 座 預 金)	300,000	*
		(支 払 手 形)	100,000	
		(仕 入)	40,000	
(仕 入)	490,000	(買 掛 金)	490,000	

* 支払手形勘定貸方 買掛金金額より

その他付記事項

（ 仕 入 ）	80,000	（ 前 払 金 ）	80,000
（ 前 受 金 ）	120,000	（ 売 上 ）	120,000
（ 給 料 ）	10,000	（ 所 得 税 預 り 金 ）	10,000

第 4 問

- (1) 振替伝票に取引総額が記入されているため、集約方式による起票方法と判明します。

<全体仕訳>

（ 仕 入 ）	140,000	（ 現 金 ）	40,000
		（ 買 掛 金 ）	100,000



（ 仕 入 ）	140,000	（ 買 掛 金 ）	140,000	… 振替伝票
（ 買 掛 金 ）	40,000	（ 現 金 ）	40,000	… 出金伝票

- (2) 入金伝票の相手科目が売上となっているため、分解方式による起票方法と判明します。

<全体仕訳>

（ 現 金 ）	30,000	（ 売 上 ）	330,000
（ 売 掛 金 ）	300,000		



（ 現 金 ）	30,000	（ 売 上 ）	30,000	… 入金伝票
（ 売 掛 金 ）	300,000	（ 売 上 ）	300,000	… 振替伝票

第 5 問

(1) 決算までに判明した未処理事項

1. 現金過不足について

(通 信 費)	2,000	(現 金 過 不 足)	3,000
(雑 損)	1,000		

決算時において原因不明の現金不足額は「雑損」または「雑損失」勘定に振り替えます。

2. 前受金について

(売 掛 金)	20,000	(前 受 金)	20,000
---------	--------	---------	--------

3. 仮払金について

(備 品)	250,000	(仮 払 金)	250,000
-------	---------	---------	---------

(2) 決算整理事項

1. 売上原価の算定について

(売 上 原 価)	41,000 ^{*1}	(繰 越 商 品)	41,000
(売 上 原 価)	650,000 ^{*2}	(仕 入)	650,000
(繰 越 商 品)	38,000	(売 上 原 価)	38,000 ^{*3}

売上原価勘定に期首商品棚卸高(繰越商品勘定残高)と当期商品仕入高(仕入勘定残高)を加算し、期末商品棚卸高を減算することで売上原価を算定します。

*1 期首商品棚卸高：整理前試算表の「繰越商品」勘定残高より判明します。

*2 当期商品仕入高：整理前試算表の「仕入」勘定残高より判明します。

*3 期末商品棚卸高：問題文資料より判明します。

2. 貸倒引当金について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	6,400 [*]	(貸 倒 引 当 金)	6,400
-----------------	--------------------	-------------	-------

受取手形と売掛金の期末残高の4%(¥8,400)を貸倒引当金として設定するため、決算整理前の貸倒引当金残高¥2,000に¥6,400を繰り入れます。

$$* \quad \frac{(\text{受取手形} \text{ ¥76,000} + \text{売掛金} \text{ ¥114,000} + \text{前 T/B 貸倒引当金} \text{ ¥20,000})}{\text{受取手形} \quad \text{売掛金} \quad \text{前 T/B 貸倒引当金}} \times 4\% - \text{前 T/B 貸倒引当金} = \text{¥6,400}$$

3. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	106,500	(建物減価償却累計額)	54,000 ^{*1}
		(備品減価償却累計額)	52,500 ^{*2}

*1 (¥1,800,000 - ¥180,000) ÷ 30 年 = ¥54,000

*2 既 存 分 : ¥200,000 ÷ 5 年 = ¥40,000

$$\text{期中取得分} : \text{¥250,000} \div 5 \text{ 年} \times \frac{3 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = \text{¥12,500}$$

4. 消耗品について

(消 耗 品)	1,000	(消 耗 品 費)	1,000
---------	-------	-----------	-------

整理前試算表に「消耗品費」勘定があるため、購入時に費用処理していることがわかります。よって、決算において未消費分を「消耗品」勘定(資産)に振り替えます。

5. 保険料について

(前 払 保 険 料)	4,000*	(保 険 料)	4,000
-------------	--------	---------	-------

支払った保険料¥12,000のうち、4ヵ月分(翌1/1～4/30分)は次期の期間に対するものなので、これを当期の保険料から減額し、次期に繰り延べます。

$$* \quad ¥12,000 \times \frac{4 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = ¥4,000$$

6. 貸付金利息について

(未 収 利 息)	2,000*	(受 取 利 息)	2,000
-----------	--------	-----------	-------

次期7月末日に受け取る利息のうち、当期の期間に対する部分(8/1～12/31分)を見越して計上します。

$$* \quad ¥400,000 \times 1.2\% \times \frac{5 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = ¥2,000$$